

一宮市は中核市へ

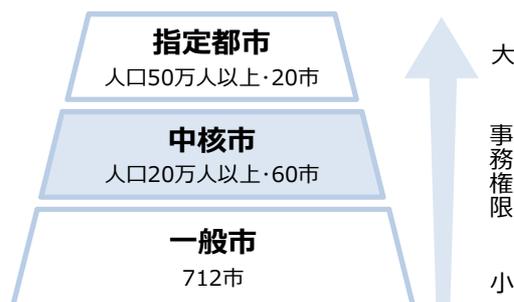
～市制施行100周年・2021年4月の移行を目指します～

中核市とは

国の指定を受け、県の仕事の多くを行う、人口20万人以上の都市のことです。

全国に60市（2020年4月1日現在）あり、近隣では、豊田市・豊橋市・岡崎市・岐阜市が中核市です。

規模や能力の比較的大きい市が事務権限を拡大し、住民に身近なところで行政サービスを提供できるよう、大都市制度の一つとして地方自治法で定められています。



中核市を目指す理由

中核市移行は、多様化する市民ニーズに的確に対応し、本市がさらに発展・成長するための大きなチャンスです。

まちづくりの ステップアップ

住みよい まちへ

きめ細やかで質の高い行政サービスを提供し、市民の福祉向上を図ります。

自立した個性ある まちへ

地域の実情に合わせた独自の基準や施策により、「一宮ならではの」まちづくりを進めます。

魅力あふれる まちへ

尾張地域の中核都市として積極的に情報発信し、まちの魅力を高めます。

中核市が行う主な仕事

県が行っている事務のうち、保健所の業務など、新たに2,000を超える事務を市が行います。

福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉施設（保育所、特別養護老人ホームなど）の設置の認可・監督 ● 障害福祉サービス事業者、介護サービス事業者の指定 ● 身体障害者手帳の交付決定 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物処理施設、産業廃棄物処理施設の設置の許可・監督指導 ● ばい煙発生施設の設置の届出の受理
	保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> ● 市保健所の設置 ● 結核などの感染症予防・まん延防止 ● 飲食店営業等の許可、食中毒対策 ● 旅館業、興行場、公衆浴場の経営許可 ● 動物愛護、狂犬病予防対策 	都市計画
		教育その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立小中学校の教職員の研修 ● 外部専門家による財務監査の実施

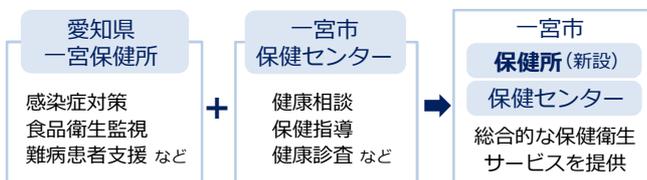
1 市民サービスの充実

生活に密着した事務の多くを市が行うことで、市民ニーズに即したきめ細やかな対応が可能になります。

(例) 保育所、障害福祉サービス事業者、介護サービス事業者等の許認可

3 総合的な保健衛生サービスの提供

県の保健所と市の保健センターそれぞれのサービスを一体的に提供できるので、市民の健康と安全を守る体制が強化されます。

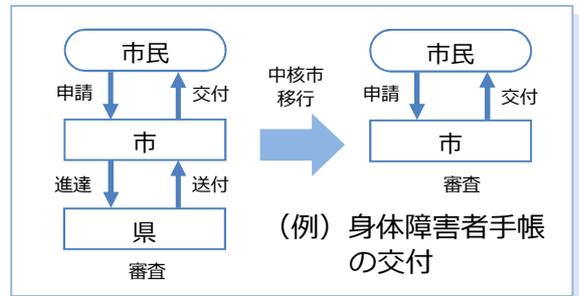


5 都市のイメージアップ

拠点都市として知名度・存在感が上がり、地域の活性化につながります。

2 行政サービスの迅速化

市を経由して県が行っていた事務を、市の窓口で一括して行うので、手続きがスピードアップします。



4 地域特性を活かしたまちづくり

市独自の基準を設定できる範囲が広がるため、特色あるまちづくりを進めることができます。

(例) 福祉施設等の設備・運営の基準、屋外広告物の許可、教職員研修 など



よくある質問

Q 中核市になると税金が上がるのですか？

A : 中核市への移行により、税金が上がることはありません。

Q 市の仕事が増えるのに、市の財政は大丈夫ですか？

A : 新しい事務を行うために毎年かかる費用は、国から交付される地方交付税の増額分で賄うことができると見込んでいます。引き続き、事務を始めるための準備費用も含め、支出が過剰に増えることがないよう、財政状況を考えながら事務の実施方法を調整していきます。

Q 市の仕事が増えると、市の職員数も増えるのですか？

A : 新しい事務を行うために必要な人員として85人の増員を見込んでいますが、組織再編による事務の効率化や職員の資質向上も図りながら、対応していきます。

中核市についてのお問い合わせは…



一宮市 総合政策部 中核市移行推進課

電話:0586-85-7003

◆一宮市ウェブサイトもご覧ください。

<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

一宮市 中核市

検索